

「こどもにいい本を手渡したい、いい本ってどんな本？」と香里ヶ丘で始めて41年
魅力いっぱいの子どもの本に出会い、いっしょに楽しみましょう！



「こどもと本」香里ヶ丘市民学級 2023年度講演会

講師：児童文学作家 **安田 夏菜 氏**

「今を生きるこどもたちへ ～あなたを作る物語～」

今回は、『むこう岸』（講談社）、『セカイを科学せよ！』（講談社）を中心に、物語が出来るまでのお話をうかがいます。作品にこめられたお話を聞いて、いっしょに物語の世界の魅力をより深く感じてみませんか。



日時 2023年7月14日（金）午前10時～12時

会場 枚方市総合文化芸術センター 1階 創作活動室

（ 枚方市新町2丁目1-60 電話 072-845-4910 枚方市駅より徒歩5分）

定員 50人

無料

 National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

**体験の風を
おこそう**

＊ こどもの本が好きな方、興味のある方など誰でも参加できます。

主催：「こどもと本」香里ヶ丘市民学級

＜ 問い合わせ・申し込み＞

TEL & FAX 072-845-3615(西原) 072-848-3984(更谷)

会場では、換気を行い、間隔をあけての座席を用意しています。参加の方は、ウイルス感染予防対策(マスク・手洗い など)をしてお越しください。

◇この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。提出された個人情報(写真)は「(独)国立青少年育威受振興機構」が保有する個人情報の適切な管理に関する規定に基づいて子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

～安田夏菜（やすだかな）さん プロフィール～

兵庫県生まれ。

『あしたも、さんかく』（講談社）で第54回講談社児童文学新人賞に佳作入賞。

（出版にあたり 『あしたも、さんかく 毎日が落語日和』と改題）

第5回上方落語台本募集で入賞した創作落語が、天満天神繫盛亭で口演される。

『むこう岸』（講談社）が第59回日本児童文学者協会賞、貧困ジャーナリズム大賞2019特別賞を受賞し、国際推薦児童図書目録「ホワイト・レイブンス」に選定される。

『セカイを科学せよ！』（講談社）が2022年第68回青少年読書感想文コンクール中学校の部に選定される。

日本児童文学者協会会員。

ホワイトレイブンスとは

ドイツのミュンヘン国際児童図書館が、世界の優れた児童書を多くの国の子どもたちに読んでもらうことを目的として、毎年刊行している国際児童図書目録。

ホワイトレイブンス、という名には、「白いカラス(ホワイトレイブンス)のように、めったに見られないような優れた作品」の意が込められている。

主な作品

『とべ！わたしのチョウ』	文研出版	2007、10
『あの日とおなじ空』	文研出版	2014、5
『あしたも、さんかく 毎日が落語日和』	講談社	2014、5
『ケロニャンヌ』	講談社	2015、4
『秘密』	講談社	2015、8
『レイさんといた夏』	講談社	2016、7
『14歳 FOURTEEN』	講談社	2016、11
『くじらじゃくし』	講談社	2017、4
『なんでやねーん！ おしごとのおはなし お笑い芸人』	講談社	2017、12
『むこう岸』	講談社	2018、12
『みんなはアイスをなめている おはなしSDGs 貧困をなくそう』	講談社	2020、12
『セカイを科学せよ！』	講談社	2021、10

